

視聴覚教育時報

No.739 2023年 8月号

contents

- ▽令和5年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定
- ▽令和5年度 全視連調査研究について
- ▽オンライン交流会 参加者募集（9月19日（火）開催）
テーマ：16ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性
- ▽講師派遣事業 令和5年度群馬県教育メディア指導者養成講座
- ▽令和4年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について
- ▽えすけーぷ

▽令和5年度全視連「視聴覚教育功労者」6名が決定

各都道府県・指定都市教育委員会および各加盟団体の推薦により、令和5年度第26回全国視聴覚教育連盟「視聴覚教育功労者」が、7月5日付け発信の文書選考委員会による審議の結果、地域の社会教育等における視聴覚教育の推進に功績のあった6名の方々に決定しました。

本表彰は平成10年度に開始され、本年度で26回目を数え、今回の6名の決定により総数442名の方々が授与されたこととなります。

なお、表彰式は例年「視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会」にて執り行っていますが、令和5年11月11日に開催の同大会はオンライン開催となったため表彰式は執り行わないこととなりました。

■岩手県・吉田郁子（よしだ いくこ）

昭和59年から18年間にわたり、岩手県中部地域視聴覚教育協議会の運営委員として教材整備の充実を図りながら、自ら実技指導者となって16ミリ映写機操作技術講習会を開催



するなど、教育映画フィルム及びビデオ教材の利用促進に尽力した。また、ビデオ教材の必要性を唱えるとともに教材制作の中心的存在として携わり、地場産業や祭りをテーマとした4種類の自作教材を完成させ、域内の映写会等で活用した。協議会解散後は、図書館職員等としてライブラリーの運営に携わりながら、バリアフリー映画会や出前映画会等の多様な形態

の映画会を企画し、映像資料を活用した市民サービスの提供に努めた。

■茨城県・興野庄一（きゅうの しょういち）

平成4年に公立中学校に奉職、視聴覚教育担当となる。同26年から4年間、水戸市教育委員会指導主事情報教育担当として市のICT活用の充実や、公務支援システムの導入に尽力。同30年教頭として公立中学校に勤務、同時に茨城県視聴覚教育振興会に入会し、約6年間わたり活動し現在に至る。同振興会の役員としては、指導者研修会を企画運営し、学校教育及び社会教育の指導者育成に尽力した。また、毎年、自作教材発表会を企画運営し、児童生徒や教員、その他地域で活躍する人たちの情報共有やレベルアップに貢献するなど、学校教育や社会教育の情報教育に関する現代的課題の解決やその指導を行ってきた。

■埼玉県・根岸 昌史（ねぎし まさし）

昭和57年に春日部市役所に入庁、10年間の公民館勤務を経て平成4年に春日部市視聴覚センター事業係主事、同22年に春日部市視聴覚センター所長、その後公民館長を経て同29年に再度春日部市視聴覚センター所長となり、令和2年に定年退職。同年に再任用として春日部市視聴覚センター主任として今日に至る。視聴覚センターで業務をするようになってからは、地域学習教材ビデオ「春日部歴史散歩」の制作等に携わり、視聴覚教材や視聴覚機器の整備充実に努めた。さらに地域の視聴覚ボランティア（ビデオ特派員）の育成に努めるなど、春日部市の視聴覚教育活動の発展に大きく貢献した。

■新潟県・福保嘉奈子（ふくほ かなこ）

平成14年に上越地区広域視聴覚教育協議会事務員となり、退職する令和2年まで19年勤務した。教材利用の増加に対応するためのパソコン貸出管理システム「貸出さん」による貸出業務を行い、サービスの迅速化ときめ細かい

相談業務に寄与した。また、教材・機材の配送を目指して導入した宅配システムをパソコンの貸出システムと連動させ、きめ細かく宅配業者との調整を行い、常に利用者が使いやすいように尽力した。さらに、長年の教材貸出及び保守業務で培ってきた経験を生かした教材目録作りに貢献するなど上越地区の視聴覚機器、視聴覚教材の整備充実に努め、その活用促進を図るなど地域の視聴覚教育進展に尽力した。

■愛知県・森 竜師（もり たつし）

昭和62年に公立学校教員として奉職、平成21年より岡崎市教育委員会学習情報指導員、同24年より岡崎市教育委員会社会教育課視聴覚ライブラリー専門主事、同25年より岡崎市教育委員会学校指導課専門主事、同28年より岡崎市教育委員会学校指導課主幹、同29年より公立小・中学校にて校長となり今日に至る。岡崎市教育委員会学習情報指導員として、視聴覚教育・情報教育を推進し、岡崎市の視聴覚・情報教育の核となる同市視聴覚ライブラリーの業務の活性化を図り、教材・機材の利用促進や研修の改善・充実を図り、岡崎市、西三河地区及び愛知県内の視聴覚・情報教育を常に先導し、その普及・発展に貢献している。

■北九州市・馬場重明（ばば しげあき）

長きにわたって社会教育、社会福祉発展のために奉仕活動を継続している北九州市AVEの会に平成13年に入会し、現在まで23年間、同会の中心メンバーとして活動している。同18年には、同会の理事となり、会の運営に尽力してきた。壊れた8ミリ映写機を手に入れ、映るように独学で修理し、同会の総会等で上映を行った。今後も8ミリ映写機の活用を含め、本市の視聴覚教育の充実と発展に貢献すると共に、自治会や子供会などでの映写会を通して、貴重な映像や文化を微力ながら継承したいという意欲をもっている。これらの活動は視聴覚教育の推進や社会福祉の充実に果たす役割は大きく、他者の模範となるものである。

▽令和5年度 全視連調査研究について

今年度の調査研究についてのテーマは、「オンラインによる視聴覚センター・ライブラリーの機能強化に向けた調査研究」（拡充継続）を実施することとし、担当専門委員を割り当てて実施することとなりました。

1. ねらい

令和4年度に調査研究の一環として実施した、オンラインによる視聴覚センター・ライブラリー職員の交流会及び研修会を継続的に回数を増やして実施し、より効果的な交流機会の継続的実施と研修会の開催に向けた課題整理と提案を行います。

さらに、その内容として自作教材の拡充への取り組み方策と、オンライン配信への取組方策についての検討を盛り込み、令和4年度までの調査研究の成果をより高めていくことを目的に調査研究を実施します。

2. 担当

丸山副専門委員長を中心に専門委員全員で担当する。

3. 内容

①オンライン交流会第1回

- ・時期 9月19日（火）
- ・テーマ「16ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性」
- ・担当委員 山本委員、小柳委員

②オンライン交流会第2回

- ・時期 1月中旬
- ・仮テーマ「教材のオンライン配信」
- ・担当委員 高見委員、石橋委員

③オンライン研修会

- ・時期 3月中旬
- ・仮テーマ「教材のオンライン配信」
- ・担当委員 間宮委員、本多委員、高橋委員

▽オンライン交流会 参加者募集（9月19日（火）開催）

テーマ：16ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性

当連盟では、視聴覚センター・ライブラリーの職員を対象に、年2回 Zoom によるオンライン交流会を実施いたします。第1回目は9月19日（火）に「16ミリ映写機操作講習会の現状と今後の方向性」をテーマに開催いたします。

当日は毎年16ミリ映写機操作講習会の講師としてご活躍されている群馬大学の立見教授をお迎えし、講習会についてのお話を伺い、講習会に関する疑問や課題などを話し合ってみてはいかがでしょうか？

1. 日時： 9月19日（火）14:00～15:30

2. 内容：

最近、事務局に16ミリ映写機操作講習会に関する問い合わせが増えていきます。

「県内で16ミリ講習会が実施されなくなったが、他県で実施の講習会を受けられるのか？またその認定証は他県でも有効なのか？」



「16ミリ講習会の講師が高齢や病気のため引き受けられなくなったので、講師を紹介してほしい。」

「16ミリ講習会をオンラインでやっても認定証を出せるのか？」

「16ミリ映写機の修理・メンテナンスを出来る会社（団体・人）を紹介してほしい。」

などです。そこで、本交流会では、16ミリ
映写機操作講習会の現状とこれからを考える
機会とします。

3. 申込締切： 9月15日（金）

4. 申込先：

下記をご記入の上、メールにてお申込みくだ
さい。

所属（ ）

氏名（ ）

メール（ ）

※info@zenshi.jp（申込受付後 Zoom アドレ
スを送付いたします）

▽講師派遣事業 令和5年度 群馬県教育メディア指導者養成講座

令和5年度の全視連の講師派遣事業を活用
して、全視連講師の立見康彦氏（群馬大学共同
教育学部大学院教育研究科客員教授）の講演が
標記研修会において実施されました。以下、実
施広告書を掲載いたします。

1. 日時 7月28日（金）13:30～16:00
2. 主催 群馬県視聴覚ライブラリー連絡協議
会
3. 会場 群馬県生涯学習センター
4. 参加者 県内におけるICT教育を振興す
るための中核的な指導者 19名
5. 講師 立見康彦氏（群馬大学共同教育学部
大学院教育研究科客員教授）
6. 講演

①講義「視聴覚教育メディア総論」

「視聴覚メディアとは」という最初の問いか
けで始まり、法令上の位置づけ、視聴覚教育の
歴史や今後の展望、教育メディアの利用や管理
運用、視聴覚ライブラリー・視聴覚センターの
役割（センター見学も実施）について、幅広い
内容の講義を頂きました。公民館職員、図書館
職員、社会教育関係職員、保育士、ハートフル
スクールサポートステーション（※）スタッフ
など幅広い受講者がいましたが、それぞれの受
講生に合わせた講義をして頂きました。

※障害のある方（ステーションスタッフ）が支
援員の指導の下、施設の環境整備等の作業を



通して就労に必要な知識や技術を習得して
います。

②講義「情報モラル・著作権・セキュリティ」

社会教育を進める上で必要となる知識を教
えて頂きました。特に、著作権については、公
民館や学校での具体例を挙げて、著作権の範囲
内での使い方や違法な例を教えてくださいまし
た。現代的な課題と併せて講義を頂きました。

③講義・実習「16ミリ映写操作技術認定講座」

講師の指導の下、16ミリ映写機を実際に操
作して頂きながら、操作方法と各部の名称を説
明して頂きました。操作方法を学んだ後、受講
者はグループに分かれ、実際の映写機操作の実
習を行いました。全員が映写機に触れ、操作を
実践することができました。最後に、フィルム
が切れてしまった際の対処方法として、テープ
スプライサーを用いた補修方法を学び、全員が
実習を終えました。

7. 所感

受講者からは、「カタカタと動くのが聞こえよかった」「受講者同士で教え合ってた楽しかった」という感想があり、16 ミリフィルム映写機のよさや講座自体の雰囲気よさを評価していただきました。また、「幼稚園や学童に見せてあげたい」「シニア向けの講座を行いたい」など、今後の活用に向けた意欲的な感想もありました。

また、今回、障害のある方（ステーションスタッフ）8名の参加がありました。映写操作やテープの補修作業では、受講生同士で交流しながら学び合う姿がたくさんありました。ステーションスタッフの方には、認定証を取得したことで、群馬県生涯学習センターで実施している



出前なんでも講座「16 ミリフィルム映画会」の運営に携わっていただく予定です。

全体を通して、とても充実した研修になりました。立見先生には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

▽令和4年度の廃棄・移管届けの提出総数の内訳について

平成23年度より、視聴覚ライブラリー所有の視聴覚教材を廃棄や移管する場合に権利者団体に通知することとなり、今年度で12年目を迎えました。

昨年度1年間に16の視聴覚センター・ライブラリーより廃棄・移管届けが当連盟に提出され、その内訳は次の通りです。

＜廃棄届け＞

- ・16ミリ 2,100本
- ・ビデオ/DVD 1,569本

＜移管届け＞

- ・16ミリ 489本
- ・ビデオ/DVD 5,273本

	廃棄届け		移管届け	
	16ミリ	ビデオ・DVD等	16ミリ	ビデオ・DVD等
Aセンター			440	4,715
Bライブラリー		21		
Cライブラリー		158		
Dライブラリー	154	393	1	409
Eセンター	371			
Fライブラリー	453		13	
Gライブラリー		4		
Hライブラリー			2	
Iセンター			3	
Jライブラリー	21			
Kライブラリー			30	54
Lライブラリー	173	993		
Mセンター	393			
Nライブラリー	313			
Oライブラリー				95
Pセンター	222			
	2,100	1,569	489	5,273

▽えすけーぷ

視聴覚センター・ライブラリーの運営が厳しくなって久しい時が経ちました。令和4年度版の視聴覚センターライブラリー一覧を見ると、全国で480の視聴覚センター・ライブラリーがあり、平成30年度からの5年間で59施設が減となっています。総事業費でも平成25年度の1,793,957千円を頂点に、令和4年度の総事業費は、平成25年度の32.7%と3分の1にまで減少しています。しかも全480施設のうち47.5%の228施設が総事業費0円となっており、約半数の施設が事業費がない状況にあります。

しかし、このような財政の厳しさは、視聴覚センター・ライブラリーに限ったものではないようです。世界有数の規模の電波望遠鏡を有する国立天文台・野辺山宇宙電波観測所も財政難で閉鎖の危機にあるという報道が2年ほど前になされていました。

45メートルの電波望遠鏡を使って、2千万光年離れた銀河で、世界で初めて巨大なブラックホールを発見したり、天の川の精細な地図を作成したというような実績を持っていますが、人件費のカットで37人のスタッフを半減したり、光熱水費の削減のために研究拠点である本館を閉鎖するなど、研究そのものが危機に陥っているそうです。

私も電波望遠鏡を見学に行ったことがあり、壮大なスケールの電波望遠鏡にロマンを感じた記憶がありますが、天文学の基礎研究のた

めの予算が削られている日本の科学の現状に危機感を覚えます。

ところが、先日さらにショッキングなニュースを目にしました。動植物や化石などの様々な標本を収集・展示し、国内最大規模のコレクションがある国立科学博物館が、財政のひっ迫を改善するために、クラウドファンディングで1億円を募ると発表したということです。

光熱費の高騰などによる支出の増加や、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入場料収入の減少などで財政的にひっ迫しているそうです。私も毎年何回か見学に行っていますが、国立の博物館がクラウドファンディングに頼らなければならないことに基礎的な研究や教育普及に経費をかけられないという構造的な問題を感じます。

幸いなことに、開始して9時間ほどで目標の1億円に達し、1週間で約6億円が集まったそうです。その一方で、「なぜ国立なのにクラウドファンディングをしなくてはならないのか？」という疑問の声や、「国が責任をもって資金を出すべき」という意見もあったようですが、施設の活動を充実させるために寄付を募るということ自体は、一つのあるべき姿を示しているのだと思います。

視聴覚センター・ライブラリーの活動を充実させるために、予算がないという現状を打破する発想が必要なのでしょう。(T. M)

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル

TEL: 03-3431-2186 / Fax: 03-3431-2192

HP: <http://www.zenshi.jp/>

Mail: info@zenshi.jp

大会
テーマ

未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用

合同
大会

令和4年度

第26回視聴覚教育総合全国大会

第73回放送教育研究会全国大会

決定！

令和4年 11月12日(土)

時間も場所も
参加者のスタイルに合わせて
自由自在！

オンライン開催

ワークショップ
セミナー

スペシャルな講師陣による
最新のネタ・コアなネタを準備！
参加型・聴講型も選択可能！

AM

実践
発表

令和4年も全国各地から最新の優れた
実践事例を紹介！明日の授業に使えるネタ満載

PM

当初の予定より変更が生じております。

午前・午後の内容が入れ替わりましたので、ご注意ください。(R4.5.23)

主催：

全国放送教育研究会連盟 NHK

視聴覚教育総合全国大会連絡協議会

(日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般財団法人日本視聴覚教育協会)

【問い合わせ先】

■全国放送教育研究会連盟事務局 <http://www.zenporen.jp/>

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHKメディア総局展開センター内

TEL 03-5455-4310 FAX 03-3481-1372

■一般財団法人日本視聴覚教育協会 <http://www.javea.or.jp/soutai/>

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11虎ノ門Pビル

TEL 03-3431-2186 FAX 03-3431-2192

↓大会の最新情報はこちら↓



<http://www.zenporen.jp/> <http://www.javea.or.jp/>

東映 教育ソフト Line-up!

小学校道徳・特別活動

ええことするのは、ええもんや!

主人公マナブの行動や心の葛藤を通して、何のために「ええこと」をするのか? ボランティアの本質について子供たちに考えるきっかけを与えるアニメーション作品です。(約14分)



原作「ええことするのは、ええもんや!」(えほんの杜刊)
作: くすのきしげのり 絵: 福田岩緒

字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

道徳・平和教育

お父さんへの千羽鶴

ともえちゃんのお父さんは特攻隊員でした。千羽鶴に託された家族の祈りと、二度と帰れぬお父さんの想い。愛する家族と国を守るために亡くなったお父さんの姿から、平和の尊さ、家族の絆の大切さを子供たちに伝えます。(約14分)



原作 ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)

字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

いじめ防止教材ドラマ

いじめ ~それぞれの想い それぞれの言い分~

この教材では、一見非があるように見えるいじめ被害者の事情、正義感がいじめに発展するまでに至った加害者の気持ち、板挟みになる傍観者の心理など、様々な立場にいる生徒を多角的に描くことで、相手の見えない事情を想像することの大切さを提起します。また「晒し」や「ステメいじめ」といった、現代特有のSNS上のいじめについても注意喚起をしています。(約23分)



字幕版付き

77,000円(税込)
学校特別価格 38,500円(税込)

家庭・保育

「映像で学ぶ 幼児の発達と生活シリーズ」全3巻

第1巻 幼児の心身の発達(24分)

乳幼児の発達がどのような過程で進んでいくのか、体の発達と心の発達、2つの視点で解説します。

第2巻 幼児の生活の特徴と家族の役割(23分)

乳幼児期の子供の生活の特徴と家族の役割について解説します。

第3巻 幼児と遊び(20分)

乳幼児期の子供の姿を見ながら、「遊び」の特徴や意味について解説します。



各巻 72,600円(税込) 3巻セット 198,000円(税込)
学校特別価格 36,300円(税込) 学校特別価格 99,000円(税込)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03 (3535) 3631 FAX03 (3535) 3632



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

予告編
配信中

<https://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像 検索

●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>